

8. 後期研修卒業生からのメッセージ

医師 廣川 淳一 (H21 卒)

日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会共同認定放射線治療専門医

全国自治体病院協議会・全国国民健康保険診療施設協議会共催臨床研修指導医講習会終了

当院の特徴は、広島県内有数の総合病院であり症例数が多く、様々な部位のがんを扱っていることが挙げられると思います。放射線治療も緊急放射線治療から高精度放射線治療や小線源治療まで幅広く治療を行っています。

当院では一流の放射線治療のノウハウについて学ぶことができます。時々、「放射線治療は機械がすべて治療を行っている」と思われている方がおられますが、全く違います！同じ部位の放射線治療でも放射線治療医によって異なるものになりますし、外科医と同じように放射線治療医にも腕前の差があります。現在市民病院に配属になってから3年目になりますが、他の施設では学ぶことができなかった放射線治療の知識・テクニックを松浦先生から学んでいます。

ここでの仕事は決して楽ではありませんが、充実した楽しい毎日を送っています。コメディカルの方とも仲が良く、週末や休日にはカーブ観戦やバーベキューなどレクリエーションを行ってストレス発散をしています。

もし当科に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、気軽にご連絡ください。見学も随時受け付けております。よろしく申し上げます。

広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会)有馬・長谷川・児玉

e-mail :hiro-kensyu@hcho.jp

～ 交通アクセス ～

【電車】

■ JR 広島駅（山陽本線）方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約12分 紙屋町東下車
徒歩 約7分

■ JR 横川駅（山陽本線）方面から
広島電鉄 7系統 約13分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

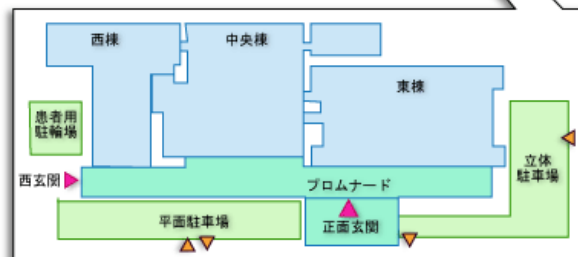
■ バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

■ 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

■ 広島空港→バスセンターまでバスで約50分位



地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

放射線治療科

のご案内

当科は、以下の基幹型専門研修プログラムの連携施設です。

専門研修プログラム名

広島放射線科専門研修プログラム



最高の仲間と、
最高の場所で、
最高の研修を！



地方独立行政法人 広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

放射線治療科へ興味のある方へ

1. 診療科の特徴

広島市民病院放射線治療科では年間約 750 例（新規患者数約 650 例）のがん患者さんを治療しており、全国でもトップクラスの実績を誇っています。当科には放射線治療専門医 2 名が在籍しています。

また、放射線治療専門技師 3 名、医学物理士 1 名が在籍しており、高レベルかつ高品質の放射線治療を提供しています。放射線治療装置としては、高精度放射線治療（定位照射、強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療）対応のリニアック 2 台、遠隔操作式密封小線源治療装置（RALS）1 台が配備されています。

当科では、頭頸部がん、食道がん、乳がん、肺がん、子宮頸がんなどの根治的放射線治療、そして脳転移、骨転移などの緩和的放射線治療も数多く研修することが可能です。がん治療に携わりたいと考えている医学生の方皆さん、放射線腫瘍医を将来の道として考えている研修医の方皆さん、広島市立広島市民病院放射線治療科で研修をしてみませんか？

2. 当科での研修プログラム

当科は、広島大学病院を基幹施設とする“広島放射線科専門研修プログラム”の連携施設として参加登録しています。

放射線治療専門医を取得するには、先ずこのプログラムに沿った 3 年間の研修後に放射線科専門医試験に合格して、放射線科専門医を取得することが必要です。

放射線科専門医取得後、2 年間の研修を経て放射線治療専門医試験に合格すると、晴れて放射線治療専門医資格が与えられます。

日本医学放射線学会の専門研修プログラム基準では、3 年間の研修期間中に複数の専門研修施設をローテートすることが義務づけられています。

2 年間は当院で研修していただき、残りの 1 年は基幹施設である広島大学病院や他の連携施設で研修することとなります。

〜スタッフ紹介〜



3. 習得できる専門資格

日本医学放射線学会放射線科専門医

4. 研修目標

放射線科専門医取得には放射線診断の経験も必要です。当院での専門研修には、放射線診断部門での研修も含まれています。放射線診断から放射線治療まで網羅した研修を行い、放射線科専門医試験合格を目標として十分な症例と研鑽を積んでいただきます。

5. 研修内容

放射線治療患者の初診、治療方針決定、放射線治療計画、病棟管理、治療後のフォローまでの一連の過程を担当し、多くの臨床経験を積んでもらいます。実際には年間 700 例を越える症例の中からバランス良く、多くの症例を主治医として担当し、放射線治療のトレーニングをしていきます。さらにカンファレンスやカンサーボードに積極的に参加し手術療法や化学療法への理解も深め、がん治療を総合的に学びます。学術活動（学会発表、論文発表など）も積極的に行っていただきます。

6. 診療実績

H30年実績

総治療患者数	786名
強度変調放射線治療件数	251例
定位照射件数	32例
小線源治療件数	21例

7. 所属長からのメッセージ

主任部長 松浦寛司（H6 卒）

日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会共同認定放射線治療専門医
日本医学放射線学会研修指導者
日本がん治療認定医機構暫定教育医
がん治療認定医・指導責任者
全国自治体病院協議会・全国国民健康保険診療施設協議会共催臨床研修指導医講習会終了

私のモットーは“明るい職場で楽しく仕事をしよう”です。当院は全国でもトップクラスの臨床実績を誇る放射線治療施設です

（年間放射線治療患者数は広島県内でトップ）。当科での仕事は内容・量ともハードですが、このような環境の中でも楽しく研修して頂けると幸いです。

また、当科の研修医には、放射線腫瘍医としてのスキルアップだけでなく、一社会人としてのレベルアップも目指してもらいたいと思っています。

放射線治療部門は、医師、放射線治療技師さん、看護師さん、事務員さんを含めたスタッフのチームワークが必要不可欠な部門です。他職種スタッフとのコミュニケーションを通じてチーム医療のあり方も学んでほしいですね。

しかし、仕事や勉強ばかりでは楽しく仕事を続けていくことはできません。当科では、カーブ観戦や宴会などのレクリエーションも折に触れて開催し、十分に息抜きもしています。

私の使命はこの道に進んだ若手を一人前の放射線治療医に育て上げることです。

放射線治療医を目指しているみなさん、広島市立広島市民病院放射線治療科で研修しませんか。